

令和4年度中国・四国エイズ治療 中核拠点病院・各県市連絡会議



令和4年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

HIV歯科口腔医療体制構築に関する活動状況 ～島根県の現状～

管野貴浩 (かんの たかひろ)

島根大学医学部 歯科口腔外科学講座

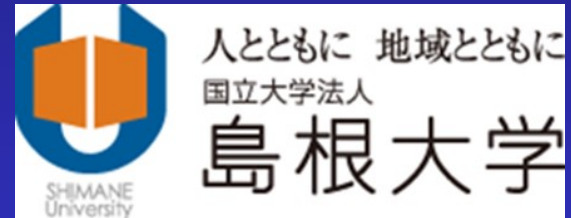
Prof. Takahiro KANNO, DDS, FIBCSOMS,
FIBCSOMS-ONC/RECON, PhD



利益相反 (COI) 開示

講演発表者名 管野貴浩

所属機関名 島根大学医学部歯科口腔外科学講座



**本演題に関して 開示すべきCOI 関係に
ある企業等 利益相反 はありません**



Today's Outline



島根県HIV歯科医療連絡協議会の現状



これまでの臨床研究等歯科からの発信

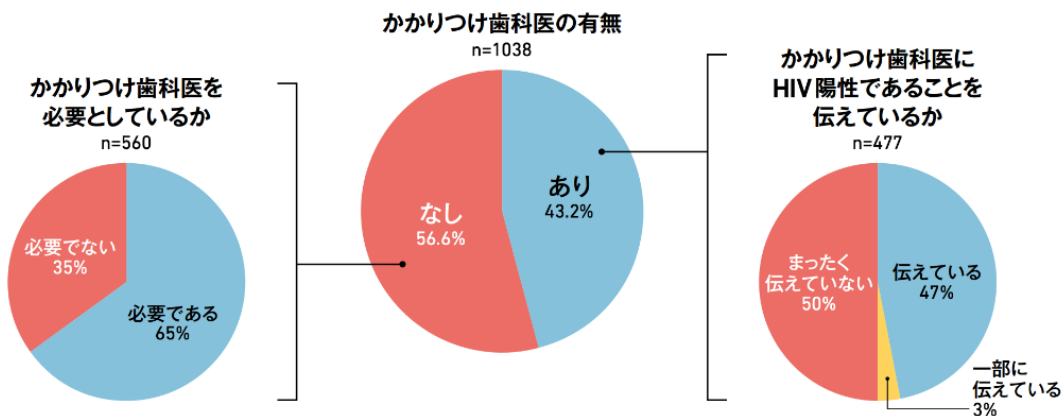
HIV感染症と歯科との健全な関係を

開業歯科医院の診療拒否という問題を越えて

鈴木歯科クリニック 鈴木 治仁 (すずき はるひと)

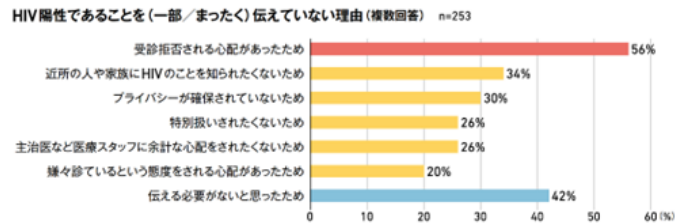
参考：HIV陽性者における歯科受診の現状

(HIV陽性者を対象とした大規模アンケート調査の結果から)

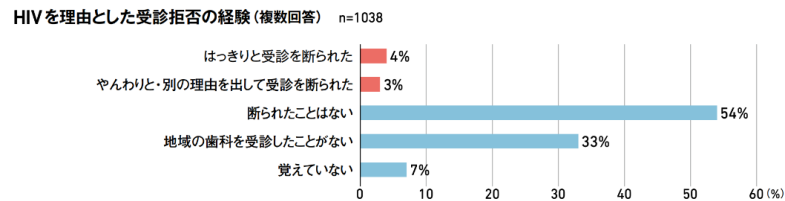


●かかりつけ歯科医がないと回答している人のうち、かかりつけ歯科医を必要としている人は65%いる。

●かかりつけ歯科医がいると回答した人のうち、HIVを伝えている人は約5割にとどまっている。



●HIVを伝えていない理由は「受診拒否される心配があった」がもっとも多く、次いで「伝える必要がないと思った」、「近所の人や家族にHIVのことを知られたくない」、「プライバシーが確保されていない」など。



●地域の歯科医療機関でのHIV陽性を理由とした受診拒否の経験は、「はっきり断られた/やんわりと・別の理由を出して断られた」を合わせて(重複回答4人を除く)6.8%(71人)。

出典：<https://www.janpplus.jp/topic/621> より引用

HIV Futures Japan プロジェクト「第2回・HIV陽性者のためのWEB調査」

(2016～2017年・日本国内在住のHIV陽性者1038人が回答) <https://survey.futures-japan.jp/>



News · 公開 2020年3月23日

「HIV感染を理由に歯科診療拒否は不法行為」東京地裁が判決 歯科クリニック側に賠償命令

HIV感染を理由に歯科治療を拒否するのは不法行為に当たるとして、歯科医院側に損害賠償を命じる判決が出されました。



by Naoko Iwanaga
岩永直子 BuzzFeed News Editor, Japan

最初のコメントを書く



HIV（ヒト免疫不全ウイルス※）感染を理由に歯科クリニックが男性患者（49）の診療を拒否したのは不当だとして男性が歯科クリニック側に慰謝料などを求めて訴えた裁判で、東京地裁の武笠志志裁判長は3月5日、このクリニックを経営する医療法人社団スタデンと理事長に対し、慰謝料など22万円を支払うよう命じる判決を言い渡した。

武笠裁判長は「被告の診療の拒絶は正当な理由がないものであって、不法行為を構成する」として、HIV診療を理由とした診療拒否は違法だと認定した。



“ほとんどの患者でウイルスを検出限界未満にコントロールすることが可能⇒歯科治療時の特別な感染対策が必要でない！”
歯科医療機関が負うべき義務について認定した。

第十九条 診療に従事する歯科医師は、診察治療の求があつた場合には、正当な事由がなければ、これを拒んではならない。(歯科医師法より)



HIV感染者の歯科医療、現状はどうなっている？

HIVはHBV(B型肝炎ウイルス)、HCV(C型肝炎ウイルス)に比べてはるかに感染力が低く、さらに、これらのウイルスに感染していることを知らずに受診する人もいと考えられる。

厚生労働科学研究班の「**HIV感染者の歯科治療ガイドブック**」では、HIV感染者の歯科治療は、**標準的な院内感染対策(スタンダードプリコーション)**を行っていれば特別な対策は必要ない。

平成28年3月 刊行

HIV感染者の歯科治療 ガイドブック 01版



厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究
歯科の医療体制整備に関する研究

「現代の歯科診療において**標準予防策を実践するのは基本中の基本であり、決してHIVだけのためではありません**」と赤字で強調！

H28.6.2 島根県HIV歯科医療 連絡協議会の発足

島根県健康福祉部薬事衛生課

島根県のエイズを診察する病院・クリニック(12件)

島根大学医学部附属病院 歯科口腔外科

松江市立病院 歯科口腔外科

松江赤十字病院 歯科口腔外科

島根県立中央病院 歯科口腔外科

浜田医療センター 歯科口腔外科

益田赤十字病院 歯科口腔外科

島根県歯科医師会 医療管理部

今までの内容を理解していただき、歯科医師としての応召義務に則れば、HIV感染者の歯科治療はすべての歯科医院が受入れるべきという結論に達します。しかも、HIV感染者の予後の改善はとりまおさず、歯科治療の需要が急増することを意味し、普通の歯科医院で治療が受けられる環境の速やかな整備が切望されています。

そこで、現実的対策として、エイズ治療拠点病院などと連携してHIV感染者を受け入れていただける歯科医院の確保、すなわちネットワークの構築がいくつかの都道府県でなされてきました。もちろん、ネットワーク構築はHIV感染者のためだけではありません。偏見にとらわれることなく、歯科診療する姿勢を提示することによって、歯科医療界の社会的地位を守っていくためでもあります。また、前述した予防薬配備の観点からもネットワークが構築されたほうが準備しやすいかもしれません。なお、ネットワーク構築では、歯科医院のスタッフの心理的負担を軽減するためにも、歯科医院に治療を依頼するHIV感染者は基本的に血中ウイルス量がコントロールされている方を想定しています。



国立大学法人 島根大学医学部附属病院



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学



一般社団法人

島根県歯科医師会

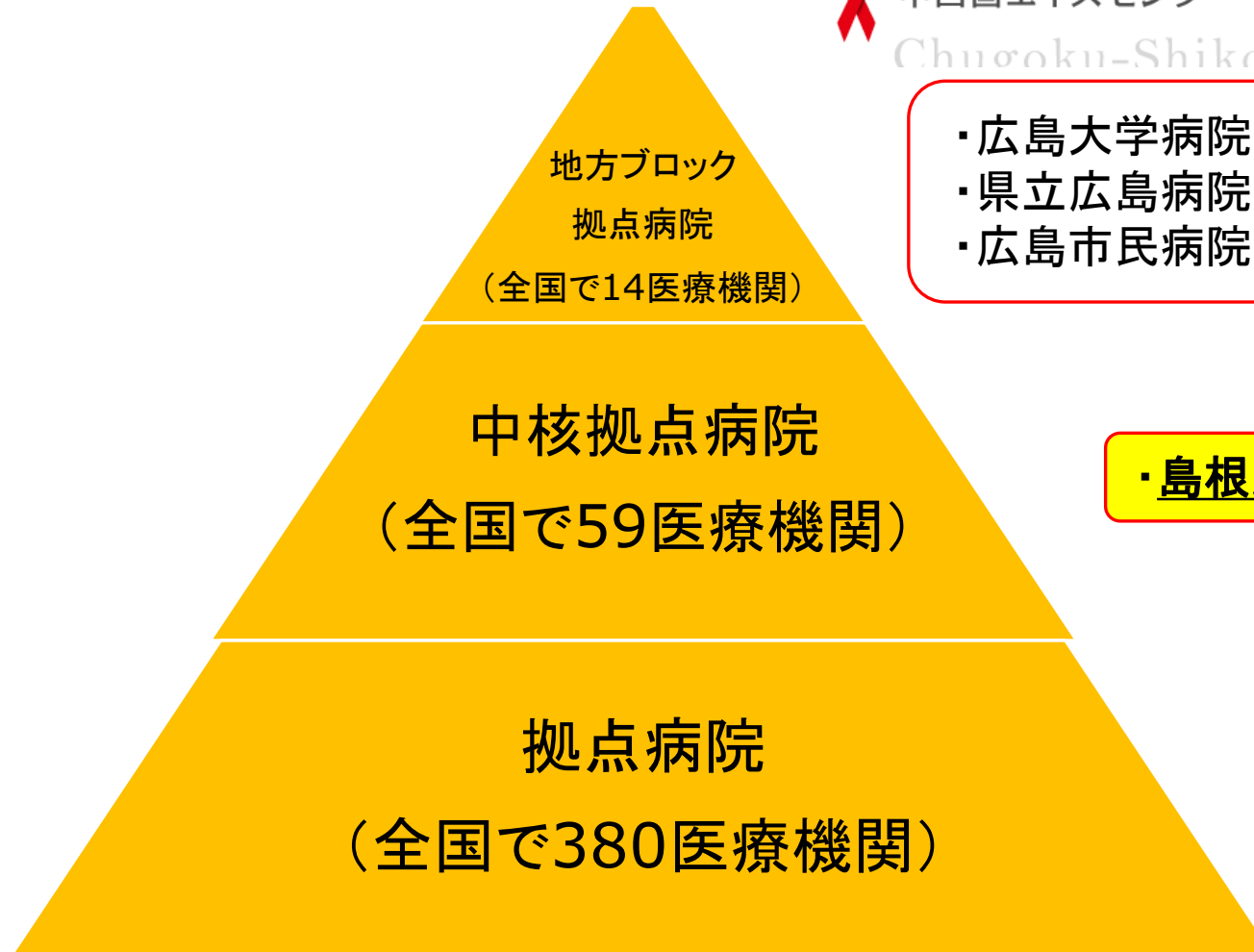


中国四国地方および島根県の HIV/AIDS医療体制



中四国エイズセンター 中四国ブロックのエイズケアの包括組織

Chugoku-Shikoku Regional AIDS



- ・広島大学病院
- ・県立広島病院
- ・広島市民病院

・島根大学医学部附属病院

- ・松江赤十字病院
- ・県立中央病院
- ・浜田医療センター
- ・益田赤十字病院



島根県HIV歯科診療ネットワーク室

平成29年12月1日(世界エイズデー)
稼働スタート

エイズ拠点病院
エイズ対策医療機関
保健所等
島根県健康福祉部薬事衛生課



国立大学法人 島根大学医学部附属病院



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学

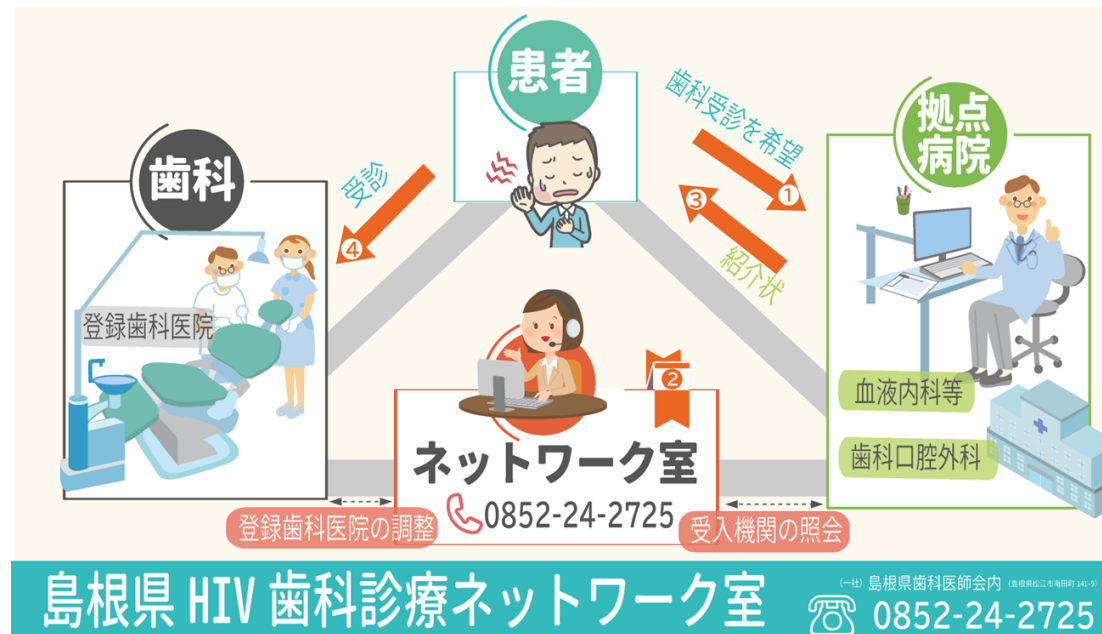


一般社団法人
島根県歯科医師会



島根県HIV歯科診療ネットワーク室

島根県 HIV 歯科診療ネットワーク室ご利用案内

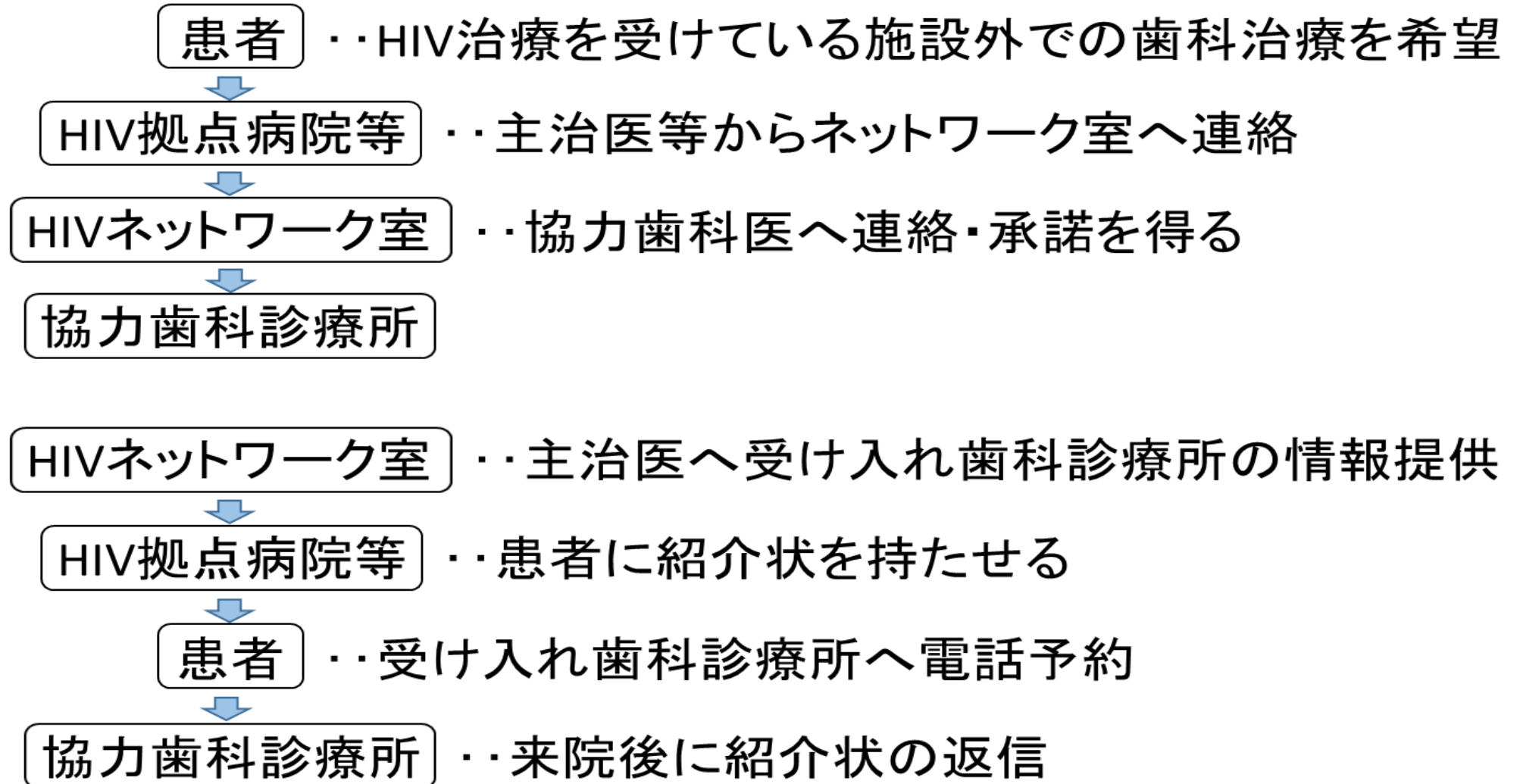


協力歯科診療所の把握
名簿の管理等

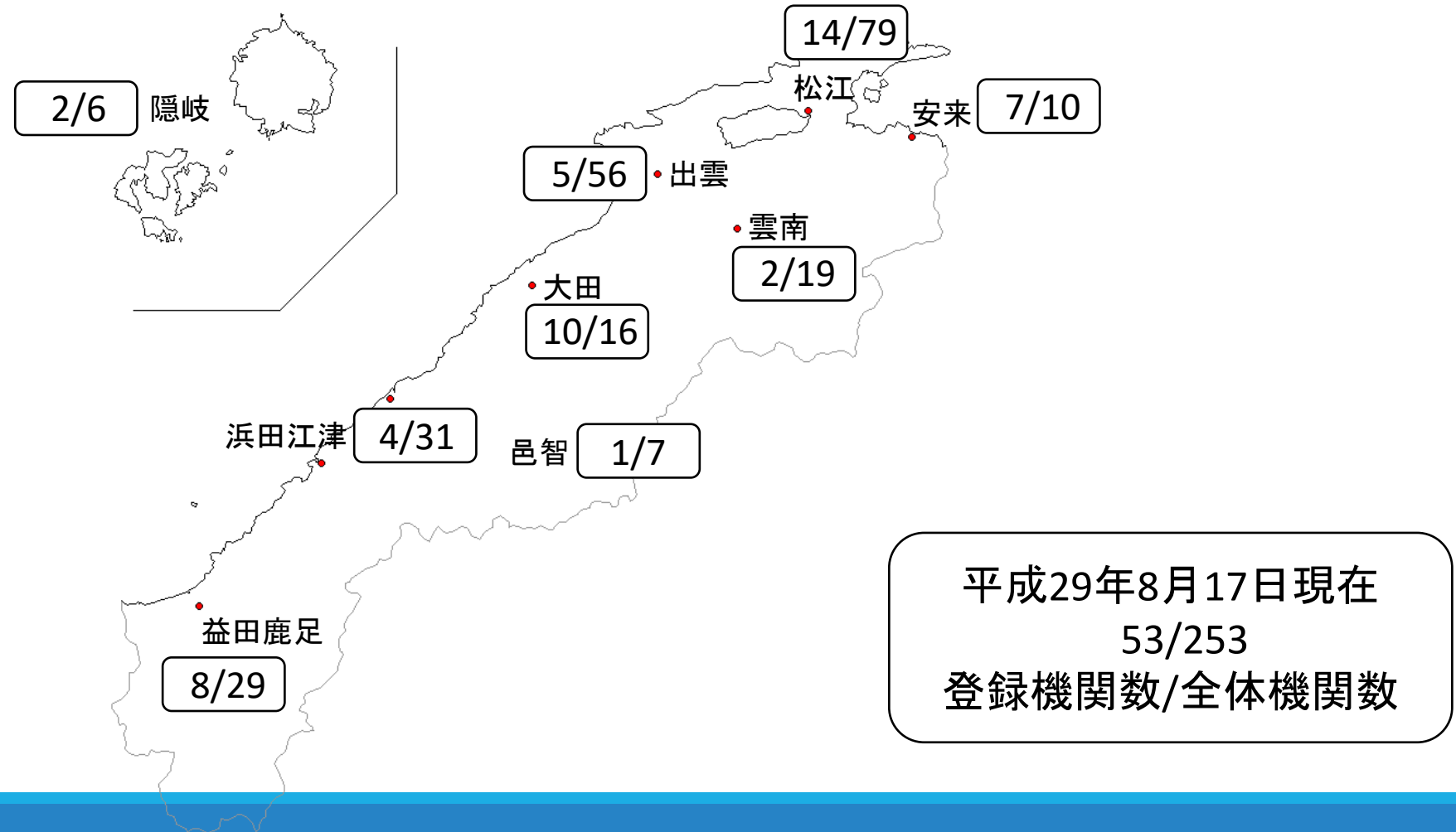
島根県歯科医師会事務局



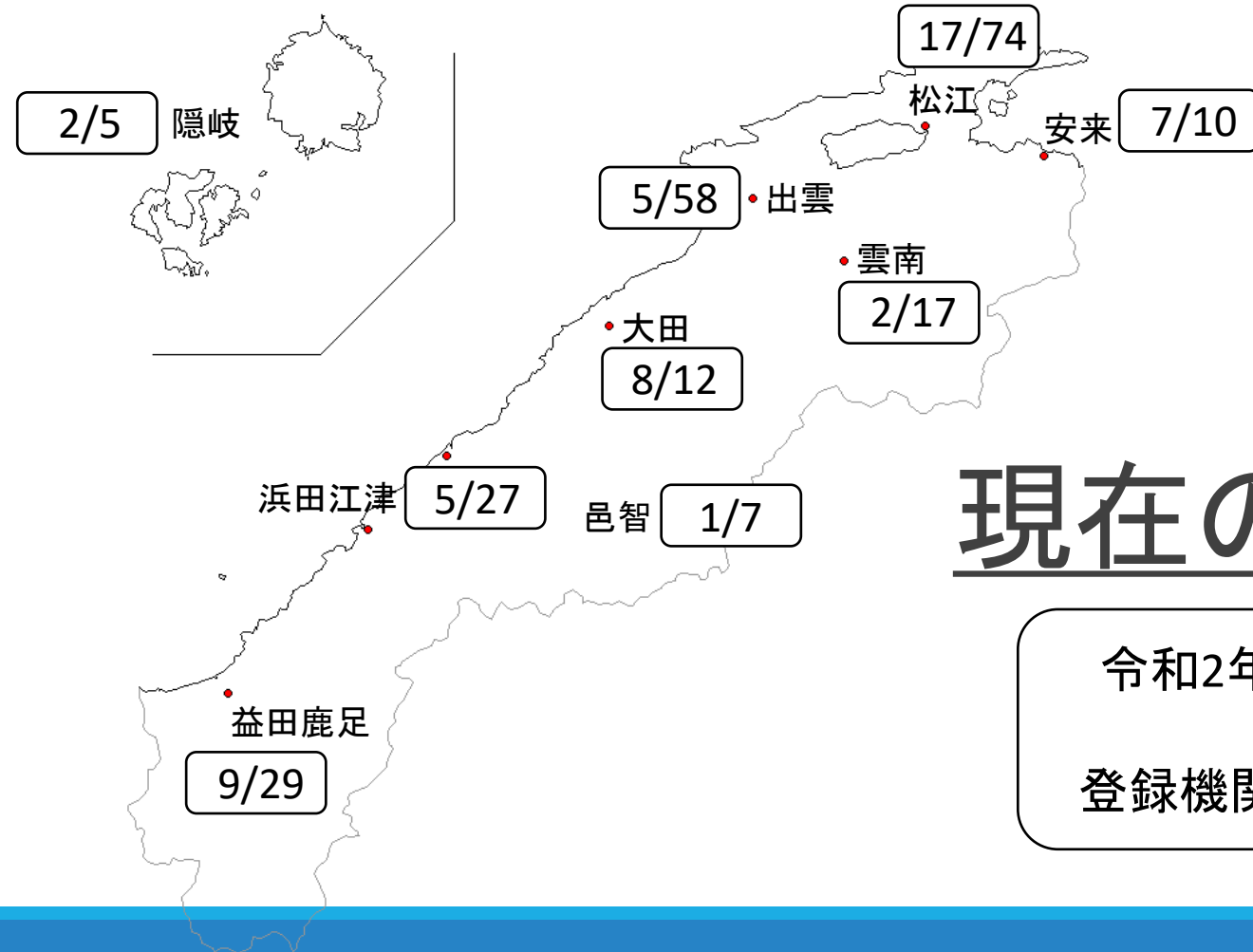
島根県HIV歯科診療ネットワーク室 ～連携の流れ～



島根県HIV歯科診療ネットワーク室 各地区登録状況（稼働開始時）



島根県HIV/歯科診療ネットワーク室 各地区登録状況



現在の状況は？

令和2年10月14日現在
56/239
登録機関数/全体機関数

島根県HIV歯科医療連絡協議会

R4.1.20(木) Web/ZOOM会議で開催

- 会員への更なる周知と協力の要請
- 拠点病院、協力病院へのネットワーク室の周知
- 診療所スタッフへの教育
- 偏見をなくす
- 県境を越えたネットワークの確立

島根県HIV歯科診療ネットワーク室 稼働開始時から現在までの紹介人数

| | |
|------|-----|
| 松江 | …2名 |
| 雲南 | …1名 |
| 出雲 | …3名 |
| 浜田江津 | …1名 |
| 合計 | …7名 |

紹介元 島根大学医学部附属病院 輸血部/歯科口腔外科 …4名
松江赤十字病院 歯科口腔外科 …3名



椎名 浩昭 病院長



島根大学医学部附属病院は
厚生労働省指定の
「都道府県がん診療連携拠点病院」です

“高度医療の提供、地域医療の最後の砦の機能の維持・推進、救急医療の充実、災害医療への対応、優れた医療人の養成”

島根大学医学部附属病院 歯科口腔外科，顎顔面インプラントセンター(自費部門)

スタッフ: 歯科医師 14名 (+初期研修医1名), 歯科衛生士 7名 2021年度速報
外来: ユニット10台, 新患数4,500名/年 外来患者累計数18,947名/年
病棟: 病床数16床, 入院患者累計数6244名/年, 中央手術室手術833名/年(2173件)

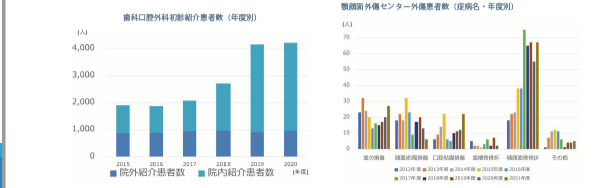
- **特殊歯科: 有病者歯科治療**
- **口腔顎顔面外科: 口腔がん, 顎顔面外傷, 顎顔面再建, 顎変形症, 歯科インプラント, 口唇口蓋裂,,**
- **周術期等口腔機能管理(口腔ケア): 周術管理**

診療科 HP 担当医一覧
 Oral and Maxillofacial Surgery
歯科口腔外科
 外来 TEL: 0853-20-2394
 内線 TEL: 0853-20-2385 (8 病棟 4 階)
 医療 TEL: 0853-20-2301 FAX: 0853-20-2299
 診療科長 菅野 貴浩 教授

顎顔面口腔領域に発生するさまざまな疾患に対応すべく、外来診療を細分化し、専門医による高度な医療を提供しています。

診療内容

- **歯科口腔外科**
 当科では、顎口腔腫瘍（悪性の口腔がんや各種良性腫瘍）、口腔顎顔面再建、顎矯正手術、口唇口蓋裂関連手術、顔面感覚位、広範囲顎骨支持型装置を用いた治療、また全身疾患のある患者さんの歯科治療などを行っています。
 とくに、進行口腔腫瘍においては、関連する各診療科（耳鼻咽喉科・顎顔面外科、放射線治療科、放射線科、形成外科など）と密に連携し、各種ガイドラインに則り、エビデンスを重視した標準治療、安心安全な治療を提供しています。
- **顎顔面インプラントセンター**
 顎顔面インプラントセンターでは、先進的な歯科インプラント治療と各種再生医療を応用し、また広範囲にわたる歯と顎骨の欠損を補う「広範囲顎骨支持型装置」まで幅広く対応しています。さらに最新のコンピュータシミュレーションとガイドドサーージェリーを駆使して対応しています。
- **特殊歯科外来・口腔リハビリテーション外来・マタニティ歯科外来**
 有病者歯科治療や他院転院と連携した歯科及び顎口腔の治療にあたっています。また、マタニティ歯科外来では母乳教室での口腔衛生指導や無料の妊婦歯科健診を行っています。
- **顎顔面外傷センター**
 顎顔面外傷センターでは、高度外傷センターおよび救命救急センターとの連携治療のもと、関連する各診療科とも連携し、口腔顎顔面外科手術に対して、最先端・最良の技術と器具器材、設備のもとで治療にあたっています。



島根大学医学部附属病院歯科口腔外科で加療を要した HIV/AIDS患者への治療 (2018年4月～2022年3月)



| 症例 | 初診 | 年齢 | 性別 | 疾患名 | 併存する疾患 | 紹介元 | 当科での治療 | 治療後のフォロー |
|----|---------|-----|----|--------|----------------------------------|--------|-----------------------------|----------|
| 1 | 2018年5月 | 30代 | 女 | HIV感染症 | #妊娠 | 当院血液内科 | う蝕処置: 1-8 | 総合病院 |
| 2 | 2019年9月 | 50代 | 男 | HIV感染症 | #高尿酸血症 #非アルコール性 脂肪肝 | 当院血液内科 | 拔牙: 54-36 1-8 処置: 4-7 7 | 当科 |
| 3 | 2020年1月 | 20代 | 男 | HIV感染症 | #メニエール病 | 歯科医院 | 拔牙: 8-1 | 歯科医院 |
| 4 | 2021年5月 | 40代 | 男 | AIDS | #HIV関連 中枢神経リンパ腫 #肺アスペルギルス症 | 当院血液内科 | 拔牙: 2-1~5 65-7 う蝕処置: 3-1 | 歯科医院 |
| 5 | 2022年1月 | 30代 | 男 | HIV感染症 | #心身症 | 当院血液内科 | スケーリング: 7-1+1-7 | 当科 |

症例

年齢： 40代

性別： 男性

主訴： 口腔内精査希望

現病歴： 2021年5月，**化学療法前の口腔内精査にて
当院血液内科より紹介受診。**

抜歯適応歯を多数認めため、抜歯を予定。

既往歴：AIDS, HIV関連中枢神経リンパ腫,
肺アスペルギルス症

* HIV関連中枢神経リンパ腫:

→ 化学療法6コース(HD-MTX4コース, MA2コース)

* 抗HIV治療

→ 2021年5月 DTG/ABC/3TC

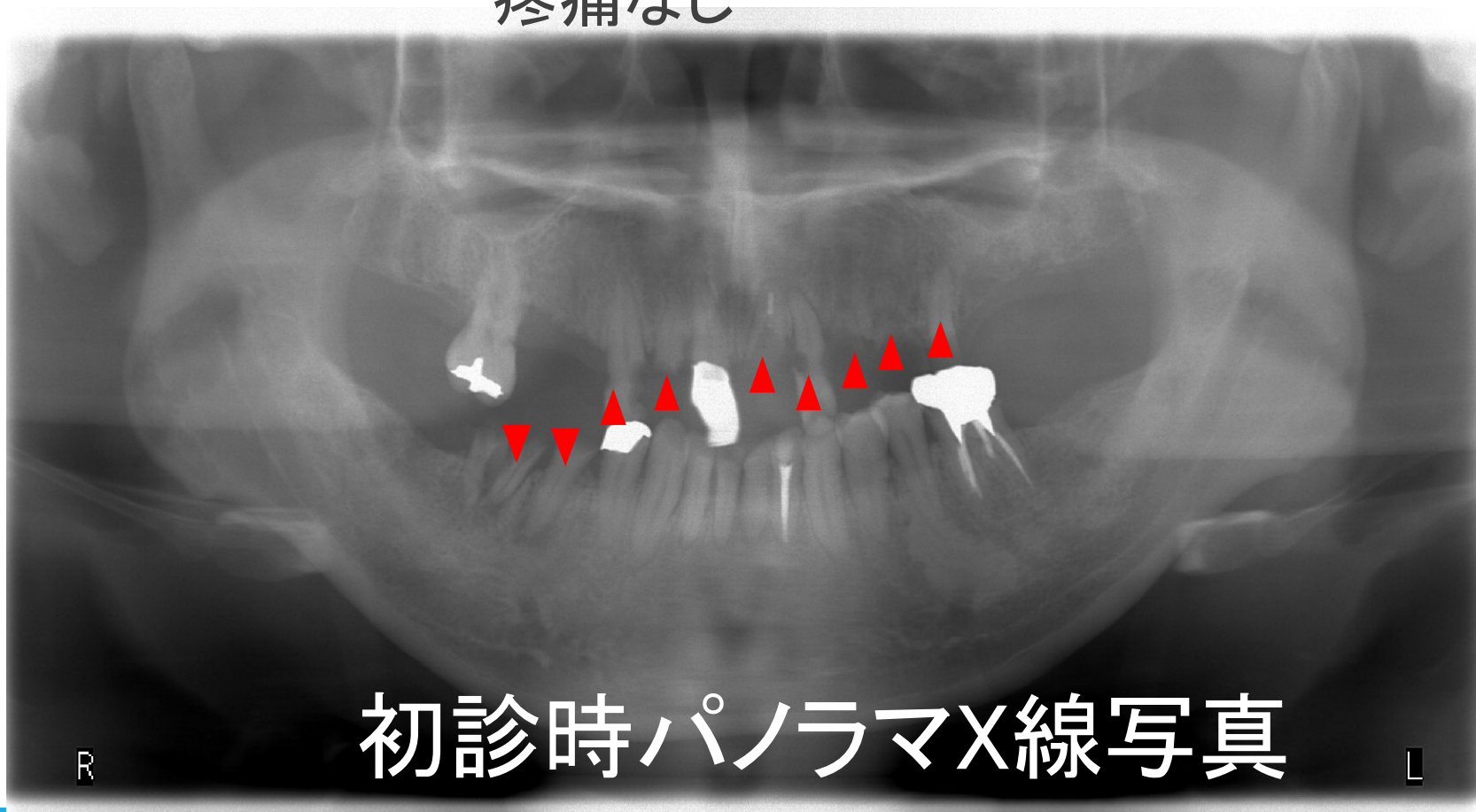
2021年9月 BIC/TAF/FTC

口腔内所見： 衛生状態は不良

重度う蝕 21┆12345 65┆

歯肉の発赤・腫脹あり

疼痛なし



▲ 重度う蝕歯

初診時パノラマX線写真

治療経過： 抜歯(9本), う蝕処置

* 詳細 → 8月下旬, 局所麻酔下, 65┐ └45 抜歯
9月初旬, 局所麻酔下, 21┐123を抜歯
9月中旬, 3┐ う蝕処置

転帰： 自宅近くの近医歯科の紹介希望あり

→ 当科関連施設を紹介し, 現在加療中

Today's Outline



島根県HIV歯科医療連絡協議会の現状



これまでの臨床研究等歯科からの発信

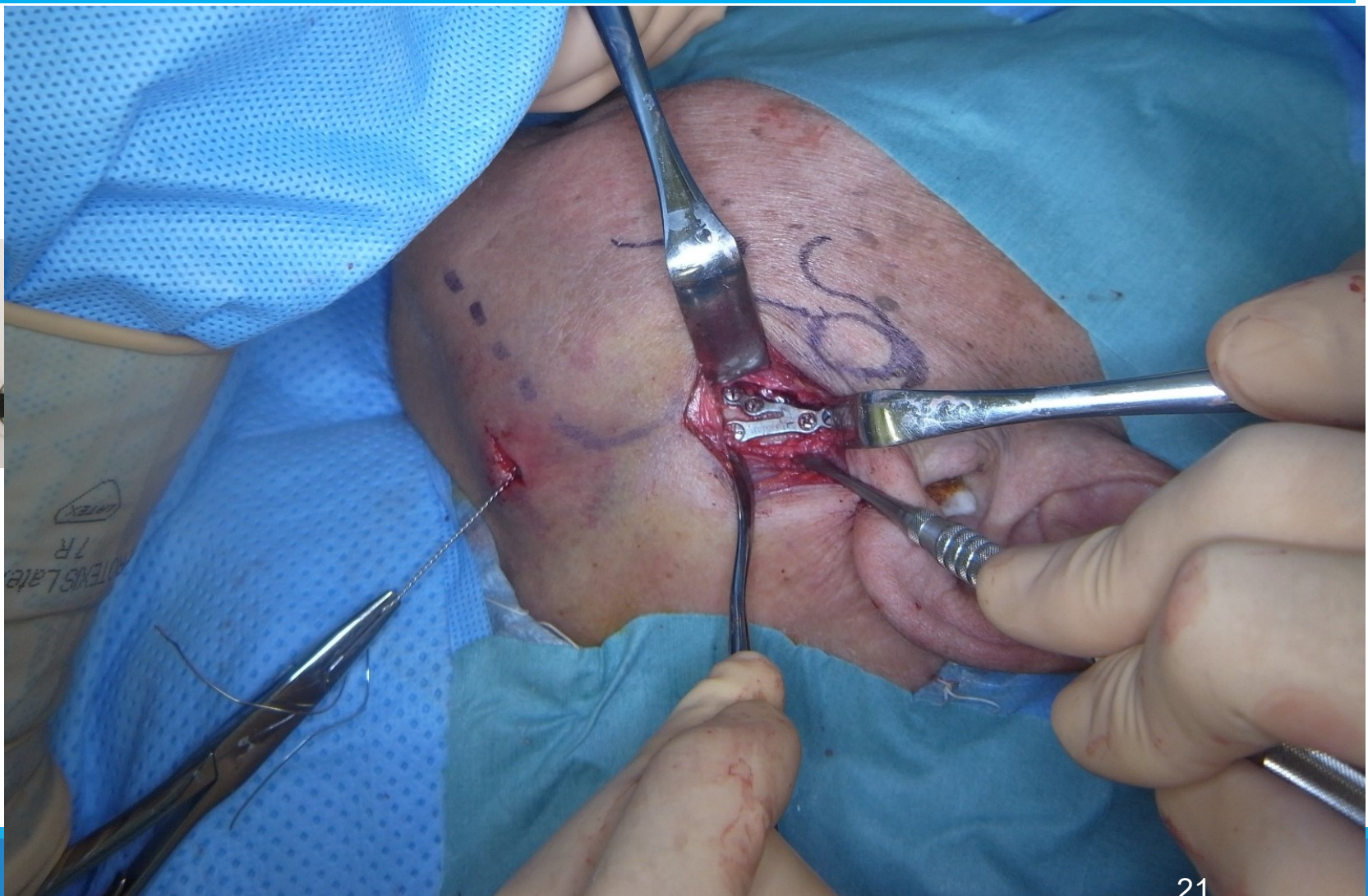
“ハッ、アッ！”という間のとっさの出来事の

歯科・口腔外科医療併発症への対応～針刺しトラブル！

各種 医療安全講習会（歯科医師会/学会関連講演）

針（金）刺し事故

76歳 男性 HCV+





即座に手術グローブを外し、流水下に血液を絞り出しながら洗浄、消毒。

➡ マニュアルに沿って対処

採血と当院肝臓内科受診

S 2014/12/26 顎骨折の手術 (M.A 80 歳、HCV 抗体陽性) の際に血液の少量付着の針金で左第 2 指を刺した。出血を確認してすぐに手袋をはずして、流水で十分に洗い流した後、消毒した。

A 2013 年職員検診時本人の採血。

| 検査項目 | 検査結果 | 基準値 |
|--------|----------|--------------|
| HBs 抗原 | (-)0.1 | <1.0 C.O.I. |
| HBs 抗体 | (+)441.1 | <10.0 mIU/ml |
| HCV 抗体 | (-)0.1 | <1.00 C.O.I. |

HCV+の患者さんの血液による

手術ワイヤー(針金)刺し事故

患者の HCV

| 検査項目 | 検査結果 | 基準値 |
|---------|------|---------------|
| HCV-RNA | 4.6 | 5 未満 LogIU/mL |

香川県立中央病院口腔外科における 術前感染症血液検査結果4469名のスクリーニング

2012年4月から2015年3月までの3年間に香川県立中央病院歯科口腔外科を受診し、観血的処置前の特殊感染症HBs抗原, HCV抗体, TPLA, RPR, HIV抗体についての検査を行った患者

| 病原体 | マーカー | 陽性率 |
|----------|----------|---------------|
| HBV | HBs抗原 | 0.76% 34/4469 |
| | (HBc抗体) | (0.45%) |
| HCV | HCV抗体 | 2.01% 90/4469 |
| (HTLV-1) | (HTLV抗体) | (1.20%) |
| HIV | HIV抗体 | 0.59% 5/845 |
| 梅毒 | T.P抗体 | 0.81% 23/2974 |

AIDS発症指標疾患

9 後天性免疫不全症候群

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-07.html>

真菌症

カンジダ症（食道，気管，気管支，肺）
ニューモシスチス肺炎など

原虫症

トキソプラズマ脳炎など

細菌感染症

化膿性細菌感染症など

ウイルス感染症

サイトメガロウイルス感染症など

腫瘍

カポジ肉腫など

症例

患者：50代，男性。

主訴：左側頬部疼痛ならびに違和感。

現病歴：201X年8月頃より左側頬部疼痛にてかかりつけ歯科を受診。

抗菌化学療法ならびに対処療法を行うも改善なく，嚥下痛，舌尖部の疼痛も

出現し，精査目的に当院歯科口腔外科を紹介受診。

口腔内所見



両側頬粘膜に広範囲な白苔
真菌培養: *Candida albicans*

臨床診断

口腔カンジダ症

治療の経過

201X年8月頃

広範な口腔カンジダ症に対し、
抗真菌薬（アムホテリシンB，イトラコナゾール）
ならびに歯科衛生士による専門的口腔ケアを開始。

11月中旬

口腔内疼痛増悪，同時に夜間の咳嗽を自覚。

11月下旬

38℃以上の発熱にて，近医内科を受診。
口腔カンジダ症の増悪による可能性を指摘
され当院歯科口腔外科紹介再受診。



当科再受診時所見

全身所見

- 短期間での著しい体重減少
- 全身倦怠感
- 咳嗽

易感染に由来する全身状態の増悪



陽性

HIV感染を疑いスクリーニング用検査キット

血液検査にてHIV抗体陽性

血液内科紹介受診
同日緊急入院



胸部X線写真

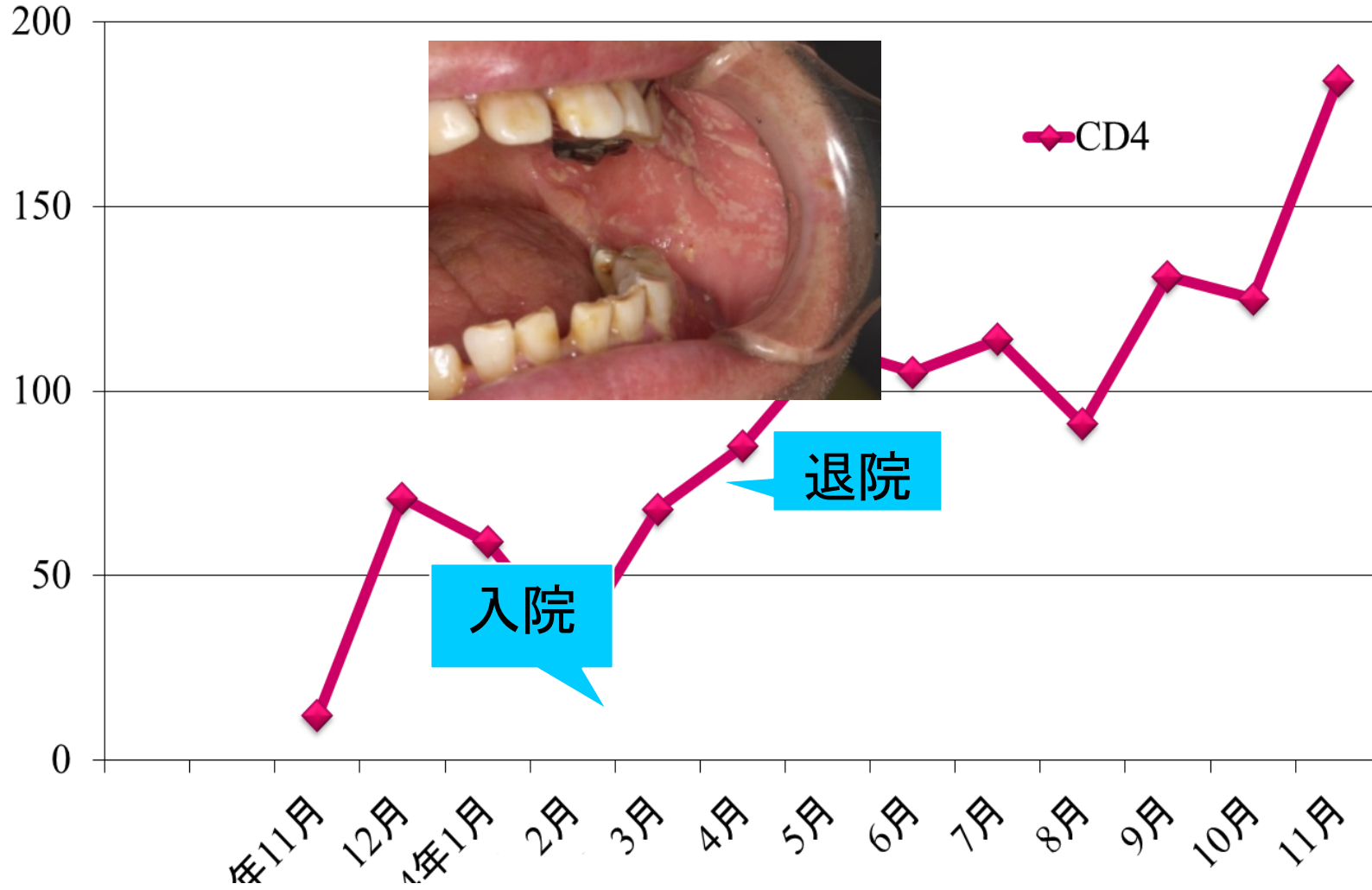
→両肺野の透過性低下
肺炎の疑い



胸部CT

→ウィルス性肺炎の疑い
ニューモシスチス肺炎

CD4数の変化



医科歯科連携によるネットワーク構築展開

HIV/AIDS患者によくみられる口腔症状

- ・ 口腔カンジダ症
- ・ 口腔乾燥症
- ・ カポジ肉腫
- ・ 再発性アフタ
- ・ 毛様白板症



柴田茜, 菅野貴浩 他, 日本口腔診断学会雑誌30巻1号 Page132 (2017.02)

結局重要なことは歯科・口腔外科治療における院内感染対策：スタンダードプレコーション

スタンダードプリコーション(標準予防策)

柴田茜, 管野貴浩 他: 日本口腔内科学会雑誌22巻2号 Page148(2016.12)

HIV長期感染に伴うさまざまな問題

HIV 感染症と骨粗鬆症

HIV Infection and Osteoporosis

Biver E. Calcif Tissue Int. 2022

HIV感染症/抗HIV薬自体 が 骨代謝に相互影響：骨塩量減少

ビスフォスフォネート(BP)製剤
抗RANKL抗体薬



薬剤関連顎骨壊死
(MRONJ, ARONJ)

Jacobson DL, et al. Clin Infect Dis. 2020



平成28年3月 刊行

HIV感染者の歯科治療
ガイドブック 018

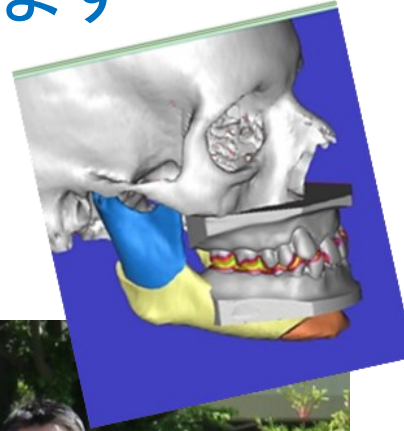


厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究
歯科の医療体制整備に関する研究

ご清聴ありがとうございました
今後ともよろしくお願ひいたします



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学



tkanno@med.shimane-u.ac.jp

Prof. Takahiro KANNO, D.D.S., FIBCSOMS-ONC/RECON, Ph.D. 33